

令和5年度 高鍋町立高鍋東小学校 学校評価書（自己評価）4段階評価 【 A・・・よい B・・・概ねよい C・・・あまりよくない D・・・わるい 】

| | | | |
|-----------------------------|--|---|--|
| 教育目標 | 高い志をもち、自らを律して、力強く生きる児童を育成する。 | | |
| 目指す学校像 目指す児童像 目指す教職員像 | ○ 知性を磨く学校（力いっぱい） ○ 主体的に学び、協働し考え深める子ども（かしこく） ○ 自ら学び、子どもと共に高まる教職員 | ○ 明るく楽しい学校（笑顔いっぱい） ○ 礼儀正しく思いやりのある子ども（やさしく） ○ 創意工夫して指導を充実する教職員 | ○ 活気がある学校（元気いっぱい） ○ ねばり強く 元気な子ども（たくましく） ○ 積極的にコミュニケーションを図り、協働する教職員 |
| 本年度の重点（教育的課題） | ○ みんなの学校をみんなでつくるという、子どもが主役の学校づくり ○ 学力の向上 ○ 体力の向上 ○ 見届けのある支援 ○ 子ども一人一人を伸ばす、特別支援教育 ○ 保護者との接点を大切にできる学校・PTA運営 ○ 教職員の働きやすい環境 | | |

| 評価項目 | 方 策 ・ 手 立 て | 評 価 指 標 | 自 己 評 価 | | | 学校運営協議会委員評価 | | | |
|-----------|--|--|--|----|----------|--|--|--|---|
| | | | 指標別 | 総合 | 結果の考察・分析 | 改善策等 | コメント | 評価 | |
| 高鍋町重点指導事項 | 【知】 授業改善 家庭学習習慣の定着 【徳】 基本的な生活習慣の定着 新明倫の教えの推奨 【体】 生活のリズムの確立 【信頼される学校づくり】 学校運営協議会の充実 幼保・小中高連携の推進 | ○ 授業力向上を目指した研究授業や研修を通して授業改善に努める。 ○ 家庭と連携し、各学年に応じた家庭学習を習慣化させる。 ○ 学校教育活動全般を通して率先した「あいさつ」「返事」「靴並べ」「整理整頓」を体得させる。 ○ 「新明倫の教え」を機会あるごとに唱和すると共に集会等において関連する講話等を行う。 ○ 早寝・早起き・朝ご飯について、学校だよりや学級通信等で啓発する。 ○ 学校運営協議会のリーダーシップ、実務者会議の機動性の発揮、地域コーディネーターと連携した取組を行う。 ○ 学力向上や防災訓練、各種行事等における幼保・小・中・高等学校との更なる連携を図る。 | ○ 「わかる授業」をめざした教師の指導力の向上を図るため、研究授業を実施する。 ○ 発達段階に応じた家庭学習の習慣を確立する。（※ 1年30分～6年80分） ○ 日常生活の土台となる「あいさつ」「返事」「靴並べ」「整理整頓」の習慣化を図る。 | A | B | ○ 町研究実践報告会や1人1実践、初期研修に関わる授業研究をとおして、実践することができた。 ○ 家庭学習の定着については、保護者・児童とも約80%が肯定的な評価をしている。一方で、定着が不十分な児童も見受けられる。 △ あいさつについては個人差があり、家庭での取組との連携が必要である。 ○ 新明倫の教えの唱和の取組については、毎朝の全校放送で啓発し、金曜日に復唱している。 ○ 早寝・早起き・朝ご飯については、保護者・児童は約80%の概ね肯定的な評価であるが、90%に達していない。 ○ 講師を迎える活動は昨年度まで最小限度に制限していたが、各学年の取り組みが増えてきているところである。児童の肯定的な評価は約85%。 ○ 幼保・中・高と連携した行事については、外国語において高鍋高校や留学生との交流活動や小中合同の研修会等は実施することができた。 | 授業改善 ・研究授業や相互参観授業アンケートの充実 ・生活習慣定着に係る保護者への啓発 ・あいさつ、礼法、整理整頓を重点的・継続的に指導 ・早寝・早起き・朝ご飯 ・早寝・早起き・朝ご飯やメディア利用についての学校保健委員会や通信による家庭への啓発 地域との連携 ・地域との連携による教育活動の推進と情報共有化 幼保小中高連携 ・合同研修会や合同行事の実施 | ・基本的な生活習慣を小学校段階でしっかり身に付けさせることはとても重要である。今、地域力も一昔前と比べると弱くなってきており、地域は地域で、子供を大事に育てていく環境づくりを模索していく必要があると考える。学校と地域との連携を深める必要があると考える。 ・子ども安全見守り活動の協力者によると、子どもたちは良く挨拶をし、親しく話しかけてくれるとのこと、取組の効果がある。 ・通学路での朝の挨拶はできている。 ・登校時の挨拶はかなり良くできています。下校時はもう少し頑張ってください。 ・地域の住民から児童に声掛けが少ない。 ・あいさつについて、下校中など校外では仕方ないところもあるが校内でも来客者や保護者など、大人への挨拶が少し足りない印象、大人からもあいさつをする必要があるが子供達からも積極的にしてほしい。 ・限られた時間でしっかり地域と連携されていると思う。 ・地域コーディネーターとの連携した取組が良く行われている。 ・幼保小中高連携の実施が出来るように地区住民との交流も進めてもらいたい。 ・地域と連携した防災訓練の取組が期待される。 | B |
| | | | ○ 早寝・早起き・朝ご飯の実践者（児童生徒・保護者）数を90%以上にする。 | B | | | | | |
| | | | ○ 学校・家庭・地域において「新明倫の教え」を推進し、80%以上の児童生徒が暗誦できる。 | B | | | | | |
| | | | ○ 学校を地域や社会に開き、「地域の力」を学校経営に生かし、70%以上の児童生徒・保護者が十分実感できている。 | B | | | | | |
| | | | ○ 幼保・小・中・高との連携の在り方を模索し、連携した行事等を5回以上実施する。 | B | | | | | |
| 知育 | 学力の向上 教師の授業力アップ | ・「東小授業スタンダード」の実践 ・個に応じた指導や習熟度別少人数指導で、たかね・みやざき学力調査の結果が全国平均を上回る。 ・学びの構え（チャイム黙想、姿勢、返事、聴く発表）を身に付けさせるとともに、家庭学習の習慣化と内容の充実を図る。 ・家庭読書（親子で読書）を年2回実施 ・児童の困り感に寄り添った特別支援体制構築、校内研修の実施（外部機関との連携） ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善 ・保護者の支援と関係機関との連携推進 | ・「東小授業スタンダード」の実践 | A | B | 個人差対応 ・担任の教科交換授業や課題別指導 ・授業における習熟の時間の確保、キュビナの活用 立腰指導 ・各学級での日常指導と校内放送等による意識化 家庭読書 ・年2回の重点的指導 特別支援教育 ・個に応じた支援の在り方に関わる研修 | ・東小授業スタンダードが職員に浸透している点が良いと思う。 ・アンケートでの評価がよく反映されている。 ・キュビナ導入により、自宅での勉強の時間が増えたと思う。 ・学習の個人差が目立つ。 習熟の遅い子は、指導の徹底をお願いしたい。 ・特別支援教育の柱である個に応じた指導、支援の在り方は、全職員でしっかり身に付けておいて欲しい。 | B | |
| | | | ・個に応じた指導や習熟度別少人数指導で、たかね・みやざき学力調査の結果が全国平均を上回る。 | B | | | | | |
| | | | ・学びの構え（チャイム黙想、姿勢、返事、聴く発表）を身に付けさせるとともに、家庭学習の習慣化と内容の充実を図る。 | B | | | | | |
| | | | ・家庭読書（親子で読書）を年2回実施 | A | | | | | |
| | | | ・児童の困り感に寄り添った特別支援体制構築、校内研修の実施（外部機関との連携） | B | | | | | |
| 心の教育の | ○ いじめ不登校の未然防止と早期解決 | ・児童の自己実現への支援～生徒指導の3機能発揮と | ○ 高鍋東小授業スタンダードの実践については職員の90%が肯定的に評価している。 | A | B | 共感的人間関係の育成 | ・毎日登校時の見守りボラ | A | |
| | | | ○ 職員が連携して計画的に指導にあたり、1年（国、算）と3年（国）以外は全国平均を上回った。 | B | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----|--------------------------------|--|--|------------------|---|---|---|--|---|
| 徳育 | 充実 明倫四徳の意識化と実践 | <input type="radio"/> 自己決定の場を与える <input type="radio"/> 自己存在感を与える <input type="radio"/> 共感的な人間関係を育成する | 悩みアンケートや教育活動を毎月実施 ・学級活動、全校、学年集会活動、学校行事などで礼法指導や存在感・達成感を抱かせる場の設定と関わり ・朝のさわやかなあいさつとボランティア活動など奉仕・体験活動の推進で思いやりの心と人のために働く態度を養う。 ・新明倫の教えを毎週一度は唱和させる。 | B B B | B | ている。また、悩みアンケートや教育相談により、いじめ不登校の未然防止等に務めた。 △ 思いやりの心と人のために働く態度を養うことについては、個人差があり、更なる指導や、奉仕・体験活動の推進が必要である。 <input type="radio"/> これから、地域見守りボランティアの皆様への感謝集会在り計画されており、更に、挨拶やボランティアへの関心を高めたい。 | ・安心して自分を表現できる 学級集団づくり ・特別活動の充実 ・奉仕活動の推進 ・PTA や地域ボランティアとの連携 | ンティアをしているが、先生方の日々の指導のおかげで子供たちの素直さや日々成長している場面を目にすることが多く、子供にとって素晴らしいと感じる。 ・地域ボランティアとの交流が盛んになり、自分で考え、行動するようになってきている。 ・東小では、かつて石井十次を題材にした道徳の授業を行っていたが、継続が期待される。 ・あいさつを自分からする様に教えていきたい。 | B |
| 体育 | 健康づくり 生命尊重と健康管理能力の向上 | <input type="radio"/> 基礎体力の向上 <input type="radio"/> 生命の尊重と健康教育の推進 <input type="radio"/> 心と体を豊かにする食育の推進 | ・新体力テストの結果の活用と実践、立腰指導、体育の時間における体力向上の指導の充実 ・危険予知トレーニング実践で事故の未然防止に努める。 ・家庭と連携したアウトメディアの推進 ・お弁当の日の継続、朝食の重要性指導 | B B B A | B | <input type="radio"/> 体力向上の指導については、教職員の肯定的評価は80%で、児童は87%であった。 <input type="radio"/> 事故の未然防止のために、委員会活動での安全点検やけがマップ作り等に取り組んだ。 <input type="radio"/> ノーメディア日を年2回実施し、啓発資料を配付してアウトメディアの推進を図った。 <input type="radio"/> お弁当の日の取組は定着している。 | 体力づくりの推進 ・体育の時間での主運動の時間の確保 ・昼休みの外遊び推奨 ・危険予知の研修等の実施 ・学校保健委員会等を通じたアウトメディアの更なる推進 | ・毎日の集団登校は、体力づくりには欠かせないと考ええる。そのコースに、雑草や木の枝など危険な場所もあり安全チェックも配慮して欲しい。 ・運動することにより、健康と長生きの秘訣になり、今以上に体力向上の指導をお願いしたい。 ・楽しめる運動を考えて欲しい。 ・運動会は半日にもかかわらず、プログラムが精選され、指導の行き届いた、子供達が楽しむ素晴らしい運動会だった。 | B |

【次年度の方向性についての校長所見】
 高鍋町の教育基本方針に基づき、「心豊かな人が育つまちづくり」を教育理念とし、『明倫』の精神と石井十次先生の人間愛を学び、ふるさと高鍋のための人材育成を図る。授業改善を教職員の重点課題とし、家庭学習と基本的な生活習慣の定着を保護者へ啓発し協働していく。さらに、児童一人一人の体力や健康についての課題の解決を図るために体育科授業だけでなく、日常生活にも健康な体への関心と実践を高められるようにする。また、人と人とのふれあい活動を推進し、互いに思いやりのある集団生活ができるようにする。アフターコロナにおいて、教職員の働き方改革とのバランスを図りながら、全職員がそれぞれの役割を果たし、組織的に教育活動にあたるようにする。